

令和6年度 真岡女子高等学校 自己評価

1 重点目標に対する自己評価

A：十分に達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

本年度の 重点目標	(1) 学習意欲の向上と主体的に考え行動できる力の育成 (2) 心身の鍛錬と豊かな人間性の涵養 (3) 学びの保障と地域や保護者の信頼に応える努力の継続		
評価項目（具体的な取組等）	関係部	参考資料	評価
ア 学習指導の改善及び充実 （ICTを活用した授業改善）	学習指導部	授業に関する意識調査 学習実態調査 学校評価アンケート	B
今年度は県の強化月間が設定され、全教員が提示以外の形でICTを活用した授業を実践できた。教科ごとの特性に応じた活用推進が課題である。			
イ 自主学習の定着と自律した学習者の育成	学習指導部	学習実態調査(5月・11月) 学校評価アンケート	B
経年比較で学習時間は減少傾向だが、学習実態調査における2回目の回答で『増加』が5割と、生徒個人では評価が高くなっている。課題+αの学習実践させるため、面談等での個別指導を充実させたい。			
ウ 一貫した進路指導体制による進路実現の推進	進路指導部	学校評価アンケート	B
近年、進路希望や入試形態が多様化しており、情報提供については難しい面があるが、アンケートの結果からも進路目標に対し適切な指導ができていられると思われる。			
エ 部活動の活性化と学校行事等の特別活動の充実	特別活動部	学校評価アンケート	B
部活動の加入率は微減傾向だが、各学年とも8割を超え、各部とも活発に活動している。夏場の冷房などの環境整備と、大会結果などの外部へのアピールが課題。本年度は新型コロナによる自粛以降初めての全面的な一般公開の学校祭を実施したが、生徒主体の活気ある充実したものとなった。			
オ 品位ある生活態度の形成と生活習慣の確立	生徒指導部	学校評価アンケート	B
制服着用とロッカー上の整理整頓について、指導に改善すべき点がある。			
カ 見方、考え方を養う活動と読書活動の推進	学習指導部	学校評価アンケート 学習実態調査	A
「ライブラリーニュース」の発行や「ビブリオバトル」の実施など、読書活動は充実した形で推進されている。読書を全くしない生徒の割合が減少するようにつなげたい。			
キ 生徒の安全確保を第一とした教育活動の計画運営	健康指導部 教務部	学校評価アンケート	B
授業中のトイレ等で所在不明となる生徒がまれにいる。生徒に所在を明らかにするような指導をしなければならない。各行事等においては、生徒の安全確保に十分留意し、共同して取り組むことができた。			
ク 共通理解と共通認識に基づく協働体制の確立	各部	各部年度末反省	B
職員全体で同じ方向を向き、概ね共通理解と共通認識のもと、教育活動にあたることで生徒の成長に寄与できている。生徒指導については、教職員による指導の差をなくすよう努める。			
ケ いじめの早期発見、いじめの再発を防止するための取組み	生徒指導部	いじめアンケート 学校評価アンケート	A
アンケートを通し適切な指導ができていられる。しかし、学校評価アンケート結果では適切な対応を求める生徒がいることが示されていることから、引き続き全教職員で生徒理解に努める。			

2 学校評価アンケート集計結果について

11月に、生徒・保護者による学校評価アンケートを実施した。

- ・本校の教育全体については、学校の雰囲気に関する質問で生徒、保護者ともに約9割の肯定的評価を得ている。情報発信について、近年肯定的回答の増加傾向が続いている。
- ・今年度新たに「地域連携」や「社会との関り」に関する活動についての質問を設けたところ、生徒の9割以上が肯定的回答であった。一方、保護者の2割以上は「回答できない（わからない）」であった。
- ・昨年度のアンケート結果では、校則に関する質問に対する否定的回答の増加がみられたが、今年度は一昨年度と同程度の割合に戻っている。
- ・「いじめやその他のことについて生徒の相談に適切に応じている」という質問に対し、肯定的回答が増加しているものの、「回答できない」が減少、否定的回答が増加。
- ・自由記述においては、大学の推薦入試や制服の移行期間、防寒着についてなど、学校の制度に関する意見が寄せられた。また、学校の情報発信に対する要望もいただいている。

3 学校関係者評価について

5名の学校関係者評価委員より、本校の自己評価（重点目標及び各部の目標）について意見をいただいた。主なご意見は以下の通りである。

【重点目標】（ビブリオバトルについて）自分の意見や主張をどんどん発信していける生徒が増えると良いと思う。

【生徒指導部】真女高の生徒は他校の生徒に比べ大変きちんとしている印象をうける。持続してほしい。安全・交通ルールについては、徹底して指導をお願いしたい。

【特別活動部】学校生活が有意義で楽しいものの一つとして部活動や行事がとり入れられると良い。世間一般でも会長や役員等の役割が嫌われる傾向。組織の役職を積極的に引き受ける主体性のある生徒の育成をお願いしたい。

【健康指導部】全ての基礎である健康を大切に、感染症予防に心がけて頂きたい。清掃は行き届いているように見受けられる。

その他たくさんのご意見をいただいているが、全体的に学校の取り組みと評価に対し肯定的なものであり、概ね自己評価は適正であると認めていただいたと言える。

4 次年度へ向けて

近年、教育現場におけるICTの活用が求められており、本校も9月の活用強化月間において各教員がそれぞれ何らかの形で実践した。今後その教育効果の検証が必要である。

部活動の加入率は微減であるものの、各部活発に活動しており、例年と遜色ない大会結果を残している。コロナ自粛以降初めてとなる全面公開された学校祭では、生徒会役員を中心に、様々な工夫を凝らしながら主体的に取り組む姿が見られ、人間性の涵養という重点目標の達成に大きく寄与したと思われる。次年度以降も部活動や学校行事の運営活動を通して、生徒の自律的な活動を推進したい。

また、アンケート結果等から教育相談の重要性が増していると考えられることから、次年度においても面談等を通じた丁寧な生徒理解に努めたい。